

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-1	法人設立者から引き継ぎ、法人が掲げる理念も設立時のままであり、形骸化されつつある。地域に開かれたグループホームを目指すため、グループホームおたがいさまの理念を作成する。	グループホームおたがいさまの理念の作成を職員全員で行う。	職員会議等の場で、グループホームおたがいさまの現状や今後実現させたいこと等について、話し合う機会を定期的に設け、取りまとめる。	6ヶ月
2	I-6	身体拘束はしていないが、マニュアル作成はできている。内部研修は行っているが、コロナ過で、外部研修は出来ていない。	定期的な、リモート等での外部研修の実施。	職員会議等の場で、配信研修を活用する。また、職員に講師を行ってもらい理解を深める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。